

常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想に係る意見交換会会議録（城ノ内）

日時	平成 28 年 2 月 6 日（土）13 時 30 分～15 時 00 分	
場所	城ノ内コミュニティセンター	
出席者	市民	15 名
	市	中山市長 松尾総合政策部長，企画課：大貫課長補佐，廣田課長補佐，関ヶ原係長，沼崎係長，原田副主査，小崎主幹
	その他	株式会社日本総合研究所
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆さんとの意見交換会 次第 ・常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想（案）策定に係る検討状況について ・アンケート用紙 	

【市民から出された主な意見（まとめ）】

- ・ 道の駅について
 - 道の駅計画の具体的な内容が知りたい。
 - 具体的な要望を聞いてもらえる場が欲しい。
 - 各関連団体との協力体制の構築は進んでいるのか。
 - 農産物等のブランド化が必要だ。
 - 温泉施設を設けるのはどうか。
- ・ 駅周辺の改善について
 - 佐貫駅西口から小学生が駅を渡って通学しているが，その問題への対策等は施策に入らないか。
 - 駅前整備を進めアピールするとともに，常磐線の増便も働きかけてほしい。
 - 買い物ができる施設が無く，不便に思う。
 - 100 年続いた佐貫駅の名を改称することに寂しさも感じている市民もいるので，よく説明すべき。
- ・ 構想の内容について
 - 東京圏から見た茨城の最初の玄関口という点を重視したまちづくりを期待する。
 - 現状をよく分析し，時間軸と費用軸を照らし合わせながら進めてほしい。
- ・ その他
 - 公共交通バスでも IC カードの利用ができるようお願いしてほしい。
 - 龍ヶ崎を象徴するまち全体のイベント行事があるとよい。

【意見交換会内容】

1. 開会，市長あいさつ

司会より開会のあいさつ，続いて，中山市長よりあいさつ。

2. 市からの説明

(1) 開催趣旨について

市より開催趣旨についての説明。

(2) 常磐線佐貫駅周辺地域整備基本構想（案）策定に係る検討状況について

市より検討状況について、スライドを用いて説明。

3. 意見交換

- ・ (市民) 道の駅がどうなっているのか知りたい。3年以内に建設となっているが。
 - (市) 道の駅については、基本構想を策定し、複数箇所で検討した結果、旧京成バラ園跡地付近が最適だという結論となった。来年度に基本計画を策定する予定である。

3年後というのは、国体に間に合わせることを目標とした。ただし、このスケジュールはややタイトなものであり、場合によっては国体に間に合わすことよりも中身の良いものを造ることを優先しなければならない状況もあると想定している。

道の駅ができることで、牛久沼を活かすための拠点となると考えている。

ロケーションが良い場所であるので、外から来る人にとっても市民にとっても魅力的なものにしたい。

- ・ (市民) 物産店など、具体的に導入する施設は決まっていないのか。また、それに対し要望を聴いてもらえる場が欲しい。
 - (市) 道の駅整備事業については、別途市民の声を聴取する場を設けたい。また、常時皆さんの声を聴ける場を設けていきたい。

今回の意見交換会は、牛久沼や道の駅を含めた佐貫駅周辺地域のグランドデザインの策定を目的としたものであり、道の駅のみを対象としたものではない。

道の駅の施設については、24時間使えるトイレ、駐車場、情報発信機能のほか、地域振興施設として地産地消の場などを一緒に設けることができる。

地域振興施設の内容は知恵の出し所で、地域ごとに様々な工夫がある。最近のトレンドとして、中山間地域等では道の駅に地域に必要な店舗や公共施設を入れ、小さな拠点としている例もある。

国道6号では現在、道の駅は一か所も無いので、東京茨城間の最初の又は最後の休憩地になるという地理的利点を活かしたい。

牛久沼の水辺を活かし、龍ヶ崎以外の4市とも連携して有効活用していくべきだと考えている。

その他、水辺のスポーツを楽しめる場所、拠点にもなり得ると考えている。

- ・ (市民) 佐貫駅西口から駅を渡って小学校へ通う子どもを見るが、その問題への対策等は施策に入らないのか。
 - (市) その問題は考慮されていないが、小学生の安全な通学環境を確保できるよ

うにしたい。

- ・ (市民) 牛久沼土地改良区や、商工会、JA 等、各団体との協力体制は進んでいるのか。
 - (市) 現在牛久沼土地改良区とは調整中である。

道の駅ができれば、直売場は目玉となる。地元の農産品の良い発信の場となると思うので、農業関係者と連携を図っていききたい。

また、近隣自治体とも協力し、魅力ある農産・物産を発信する拠点としたい。商工会とも連携して体制を構築したい。

- ・ (市民) 農産品、物産品のブランド化が必要だと思う。
 - (市) ブランド化は市でも進めているので、引き続き検討していききたい。

例えば、龍ヶ崎トマトのブランド力も、長年続けてきたことで奥行が出てきていると思う。

そのような商品開発をしていくことも一つの手だと思っている。農業生産者とも協議し、龍ヶ崎独自のものを作り、四季を通して目玉商品のある道の駅としたい。

- ・ (市民) 茨城県の農業は全国有数の高いポテンシャルである。その中でも都内に一番近いという点を活かしてほしい。

龍ヶ崎市は知名度が低く浸透していない。東京圏から見た最初の茨城の顔・玄関口という点を重視したまちづくりを進めてほしい。そのような問題を解決すれば自ずと人口は増えてくるのではないか。

 - (市) 守谷市やつくば市などをみると、TX 効果は大きい。一方佐貫駅周辺地域では、鉄道の駅を持つポテンシャルをまだ活かせていない状況にある。しかし、反対の視点では、それはこれからポテンシャルを活かすことのできる駅があるという佐貫駅周辺地域の強みであると考えている。

来年の駅名改称も大きな効果を生むと思うが、名前だけでなく中身も合わせて魅力を増していきたい。

- ・ (市民) 東京からは取手までの電車は多いが、それ以降は少ない。もっと本数を増やすように働きかけてほしい。そのためにも現佐貫駅を龍ヶ崎市駅にするとともに、駅前整備を進めてアピールすべき。
 - (市) 駅前空間については、ロータリーを改修し、混雑が回避できる構造とするよう、現在大学と連携して研究中である。

また、駅前にはファミレスや喫茶店、本屋などが無いが、多くの人が駅前に対してイメージするような賑わいを創出できればと考えている。

また、電車の増便については、JR に働きかけたい。東京から来て、取手、龍ヶ崎と連想してもらえるようにしたい。

その他、公共交通の整備も基本構想と並行して考えている。駅からの深夜バス運行等も社会実験として行っていきたい。

龍ヶ崎市は、市街地が 4 か所に分散しており、一般的なコンパクトシティの形成は難しいが、公共交通によりそれぞれの拠点間の時間距離を短縮するという形でコンパクトシティを目指していきたい。

(市民) 基本構想の策定に当たっては、現状をよく分析し、龍ヶ崎の強み・弱み、将来必要とされることなどをきちんと整理してほしい。

道の駅を早期につくることも大切だが、時間軸・費用軸を連動させ、優先順位と重要度、タイミングをきちんとタイムテーブルに乗せたマスタープランを作ってほしい。

龍ヶ崎市の現状と、あるべき姿のギャップを解消していくことに費用と時間を注ぐべきだ。そのようにマスタープランを作っていけば、自然と優先順位が出てくるはず。

➤ (市) 道の駅のように 3 年で整備していくものもあれば、10 年・20 年のスパンで実施していくものもある。牛久沼の魅力を活かすことも、すぐにできるものではない。時間軸・予算軸との兼ね合いをしっかりと見ていきたい。

・ (市民) 道の駅に併設して、温泉施設を作るのはどうか。道路ステーションとしての道の駅に、附属施設を設けることに対して、法規制はあるのか。

また、その際、掘削や源泉の確保までは市で進めるべきだと思う。

➤ (市) 牛久沼のロケーションに興味を持つ民間事業者も多いと聞いている。旧京成バラ園跡地は広いので、全てを道の駅として使うとは限らない。今後、民間事業者が名乗りを上げる可能性もある。

・ (市民) 佐貫駅では、買い物ができる施設が少なく不便に思う。

➤ (市) ビルが駅を囲むような駅前空間となれば賑わいが創出されると期待する。コロッケのアンテナショップができたが、そのような名物的要素も活用して、駅前の賑わいを創出したい。

・ (市民) 100 年以上続いた佐貫駅を改称することについて、寂しさを感じている市民もいると思う。予算を掛けて改称するということに対して、よく説明すべき。

➤ (市) 反対意見は当然あると思うが、そのような人にも成果として見てもらえるようにしていきたい。

また、関東鉄道竜ヶ崎線の佐貫駅や、佐貫駅前郵便局の名前は残る。佐貫という地名を大事にしていきたいという思いは、今後伝えていかなければならないと

思う。メモリアルとして残していくなど、今後ロータリー改修の際にも形として残せるようにしていきたい。

- ・ (市民) 公共交通バス(関東鉄道バス)にICカードを利用可能にもらえるよう市からもお願いしてほしい。
 - (市) 関東鉄道さんに問い合わせしてみたい。

- ・ (市民) 龍ヶ崎と名の付くまち全体のイベントがない。龍ヶ崎市の名前を発信する意味でも、龍ヶ崎の祭りだと分かるようなものがあればよいと思う。
 - (市) 昔は龍宮フェスティバルなどがあったが、予算上運営が厳しくなった。牛久沼を活用したマラソン大会も可能性としては考えられる。歴史と伝統からは、龍ヶ崎の祭りに撞舞を代表として位置付けるなど、市内各地区と交流しながら一体的に行っていきたい。公開練習会をたつのこ山などで行うというのも一つのアイデアだと考えている。